

第4回小田原保健医療学部同窓会理学療法部門大会開催報告

2019年9月29日(日)、小田原キャンパスの本校舎にて第4回小田原保健医療学部同窓会理学療法部門大会が開催されました。本大会は国際医療福祉大学小田原保健医療学部理学療法学科の卒業生が中心となり、卒業後の交流の場を通して理学療法に関する知識を共有することを目的に設立されました。2016年度から開催し、今年で4年目を迎えます。

今年度は2人に1人が生涯に罹患するといわれているがんにフォーカスを当て、「**がんの最前線-運動・栄養の観点から創造する理学療法-**」をテーマと致しました。

特別講演として埼玉医科大学の高倉保幸先生をお招きし、「10年後のがん理学療法を予想する」というタイトルにて在宅医療やリンパ浮腫等に関して最新の知見をもとにご講演いただきました。

講演は大田原キャンパス三期生であり田村外科病院の高橋浩平先生に「**がんと栄養～がんに対するリハビリテーション栄養～**」について理学療法を行う際のポイントをご教授いただきました。

シンポジウムは「**がんリハの実際-各大学病院の取り組み-**」と題し、各病院で行われている研究活動や勉強会、カンファレンスについて4名の先生方にご登壇いただき情報提供をしていただきました。フロアからは普段なかなか聞くことのできない他病院の理学療法展開の実際や情報共有の方法について積極的な質疑応答が展開され、参加者の臨床疑問を解決できる大変有意義な場となっております。

次年度も同窓生皆様と本大会を通して理学療法の発展に尽力していきたいと思っております。引き続き同窓会活動にご理解をいただき、一層のお力添えをお願い申し上げます。



特別講演：高倉保幸先生



シンポジウムの様子